

江戸川区立小岩第五中学校とは…… 〔開校五十年〜六十年そして二〇〇周年へ向けて〕

正門は、学校の『顔』です。本校の正門は分校、そして開校当時からその位置は変わっていません。しかし、門構えは時代とともにその姿を変えていきました。左の写真は、門構えと玄関前の庭の移り変わりを見ることが出来ます。この門を二万九百九十九名の卒業生が通り抜け、今、三四〇名の在校生が登下校の際、利用しています。正門を通り抜けると正面に『飛翔の松』が植えてあります。この松は、本校の土地を所有していた山崎米司さんが寄贈してくださったものです。その奥には石塔が置かれ、苔でおおわれています。生徒や来校するお客様を和の心のおもてなしで迎え入れ見送ってくれています。

普段は通用門を利用し生徒は登校します。その通用門を出て右側に開校五十周年より学校を、そして生徒一人ひとりを見守ってくれている石碑があります。この碑は、本校開校時から五十数年にわたり学校医を務めていただいた山上健次郎先生の句碑です。山上先生は、校医として生徒全員の検診をはじめ、修学旅行にも同行していただき、生徒とのかかわりを大切にしてくださいました。平成二十三年にお亡くなりになりました。碑には『検診を

待つ間生徒に花の鬘かむらと彫られています。新しく作り替えられた正門、そして庭園は、先人の熱き心を忘れずに今日も生徒を見守っています。

開校五十年から十年の間、新たに誕生したものが「高校進学合同相談会」と「学校応援団」と「特別支援学級六組」です。
「高校進学合同相談会」は、上級学校相談会として平成二十二年(二〇一〇)年にPTA行事として立ち上げました。当初より近隣七校のPTA役員と本校生徒が協力し絆を深め、今年も一〇〇以上の高校が集まりました。来年からは「フェス」の要素も取り入れます。
「学校応援団」は、平成二十三年に「五中」のために役立ちたいという思いをもった保護者や地域の皆さまの活動団体として発足しました。現在、岩五農園・花壇・来てきてバザー・高校進学合同相談会・授業支援など、応援していただいています。
「特別支援学級六組」は平成二十七年に様々な個性を持つ生徒の学習の場として開設しました。本校では、身辺生活の確立と処理・集団生活への参加と社会生活の理解・経済生活および職業生活への適応、体力づくりを目標に掲げ、今年初めて卒業生を送り出します。
開校六十周年の今年、体育館をはじめ、一・二階廊下天井・壁および各教室扉、一階廊下LED、区歌掲示板、玄関スロープ、駐輪場、池、樹木剪定、職員室ホワイトボード、校長室、トイレ等多くの改修や設置を行いました。そして、周年記念事業実行委員会から、思い出を大切にする「魔法の小箱」、遊びを通じた体力向上遊具、「岩五雲梯(いわごうんてい)」を記念の品としてい

ただきました。
今後、理科室・屋上ブルー・校庭等の改修が始まり、四十年後は一〇〇周年を迎えます。その年、生徒は五十代半ばを迎え、PTA役員や学校応援団として活動していることでしょう。校庭を囲む木々は大きく成長し、朽ちていくものもあります。校舎も同じです。しかし、教育目標の柱「知性に富む人・心豊かな人・勤労を尊ぶ人」・校歌、御神楽(みかぐら)、日本庭園は変わることなく本校の伝統として存続するのです。
※「高校進学合同相談会」「江戸川区中学校PTA連合協議会(江中P連)第四ブロックに所属する七校(鹿本・岩一・岩二・岩三・岩四・岩五・上一色中)のPTA共同開催」

年月日	主なできごと
2007(平19)年11月5日	開校50周年記念式典
'08(平20)年4月1日	学校医 山上健次郎先生 句碑設置 岩立平二代校長
'11(平23)年1月	足立区立鹿浜中学校より着任 小岩第五中学校ホームページ開設 小岩図書館移転 落成
'12(平24)年4月1日	成瀬一博十三代校長 江戸川区立小岩第五中学校より着任 下小岩小学校開校80周年
'15(平27)年4月1日	松本小学校開校40周年 特別支援学級(知的)6組設置
'16(平28)年8月	体育館2階天井改修工事完了 下小岩第二小学校開校60周年 タブレットパソコン41台設置
'17(平29)年4月1日	体育館1階天井改修工事完了 石井千歳十四代校長 江戸川区立宇喜田小学校より着任 江戸川区立宇喜田小学校より着任 体育館床改修工事完了 校長室改修工事完了 保護者駐輪場整備開始 玄関スロープ工事完了 体力向上雲梯
11月1日	江戸川区歌設置
11月7日	開校60周年記念式典挙行



昭和32(1957)年 正門



平成29(2017)年 正門



昭和35(1960)年 正門



昭和52(1977)年 正門



平成29(2017)年 正門



句碑



飛翔の松